

米国マーケットの最前線

-経済動向から日本への影響まで-



2014/8/19

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

9ヶ月ぶりの悪い指標、7ヶ月ぶりの良い指標。

ミシガン大学消費者信頼感指数 8月 79.2 市場予想 82.5 前月 81.8

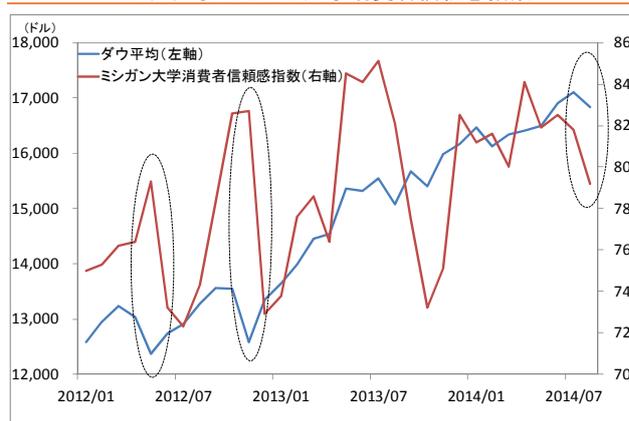
NAHB住宅市場指数 8月 55 市場予想 53 前月 53

■9ヶ月ぶりの低水準となったミシガン大学消費者信頼感指数

15日に発表された8月のミシガン大学消費者信頼感指数は、79.2と**昨年11月の75.1以来9ヶ月ぶりの低水準となり、市場予想を下回って前月から悪化した**。本指数から推定すると個人消費の先行指標となる消費者マインドが大きく悪化したことになるが、現時点では大きく懸念する必要はないと考えている。

ミシガン大学消費者信頼感指数は株式市場が調整すると、大きく悪化する傾向がある(グラフ参照)。今月の調査も7月末から8月初旬にかけての株価下落後に調査が行われたため、一時的なマインド悪化につながった可能性がある。月末に発表される調査対象人数が多くより信頼性が高い「カンファレンスボード」や来月のミシガン大学消費者信頼感指数を確認したい局面である。

ダウ平均とミシガン大学消費者信頼感指数

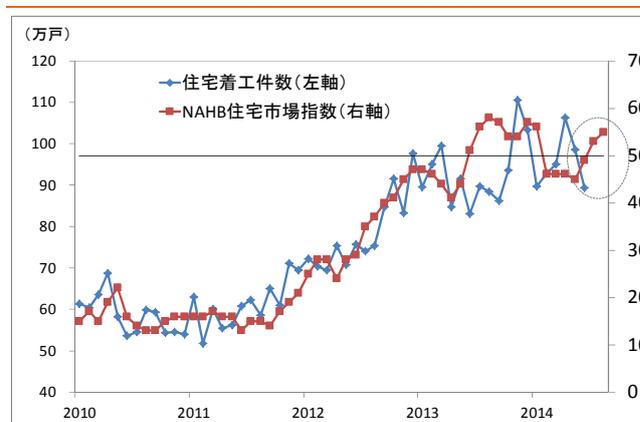


(出所) マネックス証券作成

■住宅市場の回復加速を示唆か

18日に発表されたNAHB住宅市場指数は市場予想(53)を上回る**55と、景況感の改善と悪化の節目となる50を上回り、今年の1月以来7ヶ月ぶりの高水準を記録した**(グラフ参照)。NAHB住宅市場指数は建築業者に対して不動産市況の景況感を尋ねたもので、住宅販売件数などに比べてより先行性が高い指標である。このNAHB住宅市場指数が改善したことは、年初から低迷が続き、夏場にかけても回復が不安定

住宅着工件数とNAHB住宅市場指数



(出所) マネックス証券作成

だった米国の住宅市場の回復加速を示唆するものとして、非常にポジティブな内容だと言えるだろう。

■用語解説

ミシガン大学消費者信頼感指数

米国のミシガン大学が発表する消費者マインドについてのアンケート調査結果。1966年を100として、消費者マインドを指数化したものである。消費者マインドの推測する代表的な指標で、景気動向を判断する指数として注目される。毎月速報値と確報値が発表される。

NAHB住宅市場指数

NAHB（National Association of Home Builders 全米住宅建設業者協会）が発表する米国の不動産業者の景況感を表す指標。今後の販売予測について不動産業者にアンケートをとり、50を基準として上回れば改善（ポジティブ）、下回ると悪化（ネガティブ）見通しとなる。

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会